

JSTE・CE 研究会合同
『技術・情報』新課程研究セミナー

【講演 3】

中学校において情報の流れに着目した双方向のプログラミング授業実践とその効果

小島 一生(大町市立仁科台中学校)

概要:

教室において同時双方向的に編集ができるクラウドツールを用いた学びや、SNS や電子決済等を介した日常生活での情報の双方向的なやり取りが中学生にも身近になっている。その一方で、これらの情報システムや情報の流れを理解して利用している生徒は少ないと考えられる。

そこで中学生が情報の流れや活用のしくみを理解し、情報システムを用いた問題解決を行うことができる双方向のプログラミングの授業を開発・実践した。題材には、POS システムおよび自動チャットボットサービスを用い、情報の流れに着目してネットワークを利用したコンテンツのプログラムを作成した。この授業での生徒らの取り組みと教育効果について報告する。